

中山 11

発走 15:45

第61回 弥生賞ディープインパクト記念 (3歳・オーブ) 国際(船越)馬鹿

Main race table with columns for horse number, name, jockey, and race data.

芝内2000

1.57.8 ラブレード 57 Fペリー 15年1月4日

今年推定タイム 良 2.00秒台 重 2.01秒台

- Ranking list for the 2000m race with names and times.

本紙の見解

Dエアズロック中心

近年の好走馬を見ると再び価値が向上してきた感のある当レース。サンライズジパンングの回避はあったが今年も素質馬がそろった。中心はダノンエアズロック。デビューから2戦2勝、前走のアイビースは先行策から上り3F最速タイでまとめ、レガレイラを③着に退けての勝利。レガレイラから中山変わりも問題なく、勝って大舞台へ。[郡]

WIN56 前走11馬単 9→6 9→5 9→10 9→3 9→1

3連単 1着 9 2着 13 3着 5 13 6 10 13 6 10 13 5

3連複 5 6 9 6 9 10 3 6 9 1 6 9

スズ展開 前走で逃げていた馬はおらず並びは微妙。ニシノ・シュバルツ・ダノンあたりが前で戦う。スローペースで落ち着きそう

3連単 1着 9 2着 13 3着 5 13 6 10 13 6 10 13 5

Table with detailed race data, including horse names, jockeys, and performance metrics.

BSイレブン解説者 小本曾 大祐

日刊競馬解説者 柏末 集保

クラシック候補が集まりましたが少頭数で逃げ馬不在。ゆったりした流れ、持久力より瞬発力勝負ならダノンエアズで③着。究極の上がり勝負で②着。レガレイラを押し込んだアイビース。体重どおり一戦こと調教の動きが迫力を増し、成長力も強調材料です。

2戦目に2000m1分59秒8のシンエンペラーはGIホープフルSで牝馬レガレイラに屈して2分00秒3。だが、バランスのとれた前後半60秒台の流れに乗り、同馬もレースレコードに相当の時計だった。充電でデキ一変、今回は真価の成長力発揮がある。

GIのホープフルS出走馬は「1258」。ホープフルSに着内率は「0222」。③着以内率は高いが勝っていない。また、ホープフルSの後に1戦以上挟んだ馬は⑨⑩⑪着。ホープフルS②着のシンエンペラーも1戦挟んだアドミラルシップも軸にはしにくい。ホープフルSがGIになった

2017年の翌年以降、6年間の③着以内18頭中13頭は前走が重賞だったが、今年も前走がホープフルS以外の重賞という馬がシュバルツクゲルだけ。しかも昨年の東京スポーツ杯2歳Sはかなりレベルが怪しい。最近6年で前走1勝クラス①着馬は「2104」で、前走で中山芝の1勝クラスを勝った馬は「1258」。前走で中山芝の1勝クラスを勝った馬は「1258」。

